

製品名: ラクトフェリン(Q100)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM13184

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	LTF
別名	LTF; LF; Lactotransferrin; Lactoferrin; Talalactoferrin
遺伝子 ID	4057.0
SwissProt ID	P02788
免疫原	ラクトフェリンの合成ペプチド

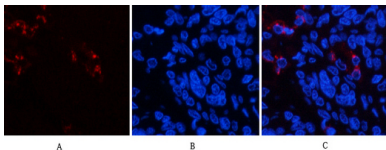
背景

この遺伝子はトランスフェリンファミリーに属し、そのタンパク質産物は好中球の二次顆粒に存在します。このタンパク質は、乳汁

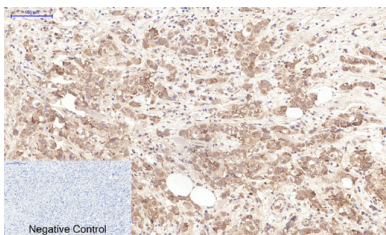
や体液中に含まれる主要な鉄結合タンパク質であり、抗菌活性を有するため、非特異的免疫系の重要な構成要素となっています。このタンパク質は、鉄恒常性の調節、幅広い微生物感染に対する宿主防御、抗炎症活性、細胞増殖および分化の調節、癌の発生および転移に対する防御など、幅広い特性を示します。このタンパク質およびそのペプチドには、抗菌活性、抗ウイルス活性、抗真菌活性、抗寄生虫活性が認められています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2014年9月],触媒活性: -Arg-Ser-Arg-Arg-|および-Arg-Arg-Ser-Arg-|、ならびに Z-Phe-Arg-|アミノメチルクマリンに対して優先的に作用する。機能: ラクトフェロキシン A、B、および C はオピオイド拮抗薬として作用する。ラクトフェロキシン A は μ 受容体を優先的に作用するのに対し、ラクトフェロキシン B および C は μ 受容体よりも κ 受容体をやや強く選択する。機能: ラクトトランスフェリンは、細胞外陽イオン濃度に依存する抗菌活性を有する。機能: ラクトトランスフェリンのトランスフェリン様ドメイン 1 は、アルギニンに富む領域を切断するペプチダーゼ S60 ファミリーのセリンプロテアーゼとして機能する。この機能は抗菌活性に寄与する。機能: トランスフェリンは、通常は重炭酸イオンである陰イオンの結合と関連して 2 つの $\text{Fe}(3+)$ イオンを結合できる鉄結合輸送タンパク質である。オンライン情報: ラクトトランスフェリンのエントリ,類似性: トランスフェリンファミリーに属します。類似性: 2 つのトランスフェリン様ドメインを含みます。サブユニット: モノマー。 ,

研究分野

画像データ



ヒト肺癌組織の免疫蛍光染色。1, ラクトフェリンモノクローナル抗体 (Q100) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。1. ラクトフェリンモノクローナル抗体 (Q100) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。